

特集 石巻市の男女共同参画

石巻市男女共同参画基本計画の 進ちよくに関する評価(平成18年度実績)

市では、平成17年4月に石巻市男女共同参画推進条例を施行し、男女共同参画社会の実現を目指してきました。石巻市男女共同参画基本計画は、この条例を推進するため平成18年2月に策定されたもので、計画期間は、平成18年度から22年度までの5力年です。

今回は、この計画の平成18年度における進ちよく状況について、実績調査などによる検証に基づき市長を本部長とする男女共同参画推進本部が評価した結果を、男女共同参画推進審議会からの意見を付し、皆さんに公表するものです。

男女共同参画社会とは・・・

男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会



【平成18年度の実績について の評価】

重点課題1 男女共同参画に関する意識の高揚と教育・学習の推進

男女共創セミナーなどの講演会や男女共同参画週間でのイベント実施など、啓発事業に努めた。

また、スクールカウンセラー配置の充実により性に関する相談への対応が向上した。

今後は、家庭教育学級や出前講座での男女共同参画メニューの活用を促す必要がある。

重点課題2 政策形成および方針決定の場への女性の参画促進

審議会などの委員、市議会議員および市の管理職について、女性の占める割合は、それ

ぞれ21.3%、5.9%、7.2%であり、いずれも県内市町村平均を下回っている。

審議会などの委員への登用が進まない要因としては、あて職・学識経験者・地域代表者に女性が少ない、専門的知識を有する女性人材が見当たらないなどであり、今後、人材の発掘・育成のほか、公募制の導入など、登用を促す努力が望まれる。

また、市議会議員および市の管理職の増加を促すためには、これまで以上に、市民および市職員への啓発が必要である。

重点課題3 地域における男女共同参画の推進

地縁団体の長への就任について、PTA会長が6.1%、町内会長は1.0%であり、県内他市町村平均と比較すると2分の1以下となっているもの、策定時に0人であったPTA会長が4人となっており、補助役割からリーダー的役割にシフトしている点については今後に期待が持たれる。

重点課題4 働く場における男女共同参画の推進

女性の指導農業者や漁業士、男性保育士は増加していないものの、男性看護師は5.6%と前回より0.6ポイント増加した。

啓発・支援事業については、

21世紀職業財団との共催により、「仕事と家庭の両立のための雇用管理セミナー」および「女性の再就職準備(Re・Work)セミナー」を実施した。

重点課題5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援

アンケート調査の結果、ドメスティックバイオレンス(DV)の内容について正しく理解している人の割合が76.3%と高かった反面、セクハラまたはDV被害に遭ったときの相談窓口を知っている人の割合が32.3%と低い結果となった。

今後、家庭児童生活相談所をはじめとする相談窓口や電話相談のPRをこれまで以上にを行う必要がある。

重点課題6 子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援

延長保育・一時保育については現状維持、休日保育・病後児保育については未実施となっているものの、中央児童館およびファミリーサポートセンター事務局の開設、平成19年6月の桃生子育て支援センターのオープンなど、子育て支援の充実が見られる。

その他

平成18年度市民意識調査の結果からは、依然として当地域社会が男性中心であり、



平成19年8月26日に開催された男女共創セミナー
向井万起男講演会「女房が宇宙を飛んだ」

計画の進捗よく状況と目標値

重点課題	項目	策定時 (H17)	現況 (H18)	目標値 (H22) (※はH21)
2 政策形成および方針決定の場合の女性の参画促進	審議会・委員会などへの女性委員の登用率	24.9%	21.3%	35%以上
	女性人材リスト掲載者数	52人	60人	100人
3 地域における男女共同参画の推進	子育て支援センターの数	4カ所	4カ所	※6カ所
4 働く場における男女共同参画の推進	女性の指導農業士の数	2人	2人	4人
	女性の指導漁業士の数	4人	3人	7人
6 子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援	延長保育の受入定員と実施力所数	36人、4カ所	36人、4カ所	※297人、27カ所
	一時保育の受入定員と実施力所数	26人、4カ所	26人、4カ所	※42人、5カ所
	休日保育の受入定員と実施力所数	未実施	未実施	※60人、3カ所
	病後児保育の受入定員と実施力所数	未実施	未実施	※5人、1カ所
	子育て支援センターの数	4カ所	4カ所	※6カ所

家事や介護を女性に依存している現状が何われる反面、男女問わず生涯を通して女性も就業すべきと考えていることも明らかになった。

また、人権問題については、セクシャル・ハラスメントが19.8%、DVでは20.4%の女性が経験しており、より一層の予防啓発と相談窓口のPRが必要となっている。

【評価のまとめ】

私たちの住んでいる地域は依然として「男性中心の社会」であり、その格差を是正するため、講演会などによる市民の意識啓発や、女性の政策への参画の促進が不可欠である。

そのためには、各種委員会などで活躍できる女性を登用することが欠かせないことから、

女性人材の発掘と育成が必要となっている。

また、さまざまな業務を通して男女共同参画推進を進めていくべき市職員は自らの意識改革が急務であり、より一層の職員啓発に努める必要がある。

【今後の重点取組事項】(太字は最重要事項)

- 1、家庭教育学級や出前講座での男女共同参画メニューの活用促進。
- 2、女性人材育成セミナーの開催などによる女性人材の発掘・育成および女性人材リストの活用促進。
- 3、審議会などの委員委嘱の際、女性委員を登用する配慮の周知徹底。
- 4、庁内における女性管理職登用への配慮の周知徹底。
- 5、地縁団体の長への女性登用の配慮の周知徹底。
- 6、21世紀職業財団との共催による事業主向け啓発事業の実施。
- 7、商工会議所など関係団体と連携した企業啓発の実施。
- 8、DV相談窓口のPR強化。
- 9、子育て不安に対する相談・支援事業の促進。
- 10、講演会などの開催に際し、働く人や子育て中の人が参加しやすい日程や時間の設定、託児コーナーなどの設置の配慮を周知する。
- 11、庁内において男女共同参画便りを定期的に発行し、

市職員向けの啓発を行う。

【石巻市男女共同参画推進審議会意見】

- 1、審議会の委員への女性の登用については、地方自治法に基づく執行機関である公平委員会、固定資産評価委員会、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会への女性委員の登用を重点的に促進すること。

また、市の女性管理職の登用率向上を図ること。

2、21世紀職業財団などさまざまな団体と連携するなど、研修機会の多様な活用を努めること。

また、市内各地域における研修会の開催など、市民へのきめ細かな啓発はもとより、事業所(事業主)へのより一層の啓発および情報提供にも努めること。

3、DV相談は、生命に関わる問題や緊急対応が迫られる問題を常に抱えていることから、窓口体制を強化すること。

また、窓口のPR促進にもより一層努めること。

4、高齢者および障害児を含む子どもの人権擁護並びに子育て支援事業の実態を把握し、特段の配慮を講じ

るべく施策のより一層の充

実を図ること。

なお、平成18年度の実績についての評価は市のホームページに全文を掲載しています。是非、ご覧ください。

☎ 男女共同参画推進室(内線608・600)

まちづくりのメンバーとして、活躍してみませんか!!
—女性人材リストへの登録者募集—

市では、政策形成に関わる委員会・審議会などの委員としてご活躍いただける女性人材を求めています。

市政に関心を持ち、自己の知識・経験・能力を発揮したいと思っている女性の登録をお待ちしています。



応募資格 市内に居住または勤務している、20歳以上の女性
登録期間 登録は随時受け付けしています。

☎ 男女共同参画推進室 (内線600・608)